

第2班若手夏の学校「超の世界にチャレンジ」

平成18年9月6日（水）から8日（金）までの3日間、高野山福智院において第2班の若手夏の学校「超の世界にチャレンジ」が開催された。第2班の夏（秋）の学校は、平成15年11月「新物質の創生と技術開発」（高野山福智院）、平成16年9月「新しい相転移」（兵庫県赤穂ハイツ）に続き、今回で3回目の開催となる。（平成17年度はハノイ（ベトナム）において大阪大学フォーラム2005が開催されたため、若手の学校は開催されず。）

16研究グループより105名の参加者があり、萩原政幸教授による「強磁場を利用した物性科学」・中嶋悟教授による「地球内部粒界薄膜水の物性と地球ダイナミクス」の2件の基調講演、若手研究者・大学院学生による9件の講演の計11件の口頭発表と73件のポスター発表が行われた。口頭発表では「超の世界」というキーワードに関連づけた講演が行われ、いずれも活発な質疑応答がなされた。ポスター発表は発表時間が若干短いように感じられたが、その分集中した質疑が交わされ、時間が過ぎてもなかなか終わらないほど熱い議論が続いていたように思われる。



当初は2日目の午前中を自由散策時間として予定していたが、1日目の午後から激しい雷雨に襲われたため、急遽2日目と3日目の午前予定を入れ替えた。このため、全ての口頭・ポスター発表は2日目に終了した。夕食後には優秀ポスター賞に選出された以下の7名の表彰および、自由討論時間として野末泰夫教授の講演と菊池誠教授のニセ科学に関する講演が行われた。菊池教授による講演は、約3時間にも及んだが、大変興味深い身近な内容だったため、最後まで会場全体がかなり盛り上がった。

研究室が近くに位置していても、なかなか周りの研究員のメンバーに研究内容を説明する、また逆に説明してもらおうという機会を持つことは意外に困難である。これを機に、他の研究グループのメンバーと気軽に研究内容について話し合えるようになり、今後の研究生活を実りあるものにするのが期待される。

ポスター賞

阿部敬朗 「六方晶氷 I_h の反磁性異方性」

鈴木彰子 「南極宇宙塵中の有機・含水成分の顕微赤外分光測定」

吉野好美 「Dale 型非対称相互作用のアトラクタニュートラルネットワークモデルにおける空間構造の効果」

柏木隆成 「ハルデン磁性体 NDMAP における磁場誘起相での新奇なスピン励起」

染川智弘 「コヒーレント白色光の多波長・偏光を利用した環境計測」

Nguyen Hoang Nam 「Magnetism of pressure-doped K clusters in zeolite LTA」

佐藤友彦 「2次元有界領域における平均場方程式の解の漸近的非退化性」

